

2018年5月18日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

欧州における B to B のデジタル化の祭典「CEBIT 2018」

6月11日～15日、コンセプト変更後初めての開催

ヨーロッパにおけるイノベーションとデジタル化のためのB2Bの祭典として生まれ変わった「CEBIT (セビット)2018」が、2018年6月11日(月)～15日(金)ドイツ・ハノーバー国際見本市会場にて開催されます(主催:ドイツメッセ株式会社/ドイツ・ハノーバー)。商業と社会のデジタル化への移行にスポットライトを当て、ビジネスの場と気づきを与える展示会の機能にフェスティバルの要素を組み合わせた新しい催しまで1か月を切った今、今回の見どころをご紹介します。

- ▼ 新しいCEBITを支える4つの柱、d!conomy、d!tec、d!talk、d!campus
- ▼ CEBIT プレミアムパートナーであるセールスフォースが大規模ブース「Salesforce Park」を展開、第4次産業革命の最前線にいる顧客、パートナー、イノベーターが一堂に会する場に
- ▼ ヒューレットパカードも大規模ブースを設置、デジタルトランスフォーメーションの事例を紹介
- ▼ ドイツ自動車連盟(ADAC)がCEBITの「Future Mobility」に関し長期パートナーシップに合意、「Future Mobility」にはドイツ鉄道、フォルクスワーゲンも出展、高い関心が集まる
- ▼ デジタルトランスフォーメーションの旗振り役であるAtosが出展、d!campusにも登場
- ▼ 公共部門におけるデジタル化、「eGovernment」が新たなキートピックスに
- ▼ 中小企業を主役に据えた展示、イベント多数開催
- ▼ ドイツテレコム、IBM等著名企業がカンファレンスに登場

※詳細は次ページ以降をご覧ください。

CEBIT 公式サイト(英語) <https://www.cebit.de/>

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部

担当:竹生(たけお)、大津(おおつ)

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室(TEL:03-3434-8620、担当:斎藤)へお願いいたします。

▼ 新しい CEBIT を支える 4 つの柱、d!conomy、d!tec、d!talk、d!campus

★d!conomy

業務をデジタル化し、その結果、対応速度の向上、効率化、高収益化につながる製品・ソリューションを提供するエリア。

★d!tec

AI、ブロックチェーン、ヒューマノイドロボット、VR/AR というような、従来の仕組みを変えるような技術が展示されるエリア。その他新しいビジネスモデルを携えた、350 を超えるスタートアップの出展も見られる。

★d!talk

会場内に設置された 10 カ所のステージにて 600 人の登壇者を迎えるカンファレンスプログラム。

★d!campus

DJ による音楽やライブミュージックが流れる中、食事を楽しみながらネットワーキングできるエリア。

▼ CEBIT プレミアムパートナーであるセールスフォースが大規模ブース「Salesforce Park」を展開、第 4 次産業革命の最前線にいる顧客、パートナー、イノベーターが

一堂に会する場に

フォーブス誌の「最も革新的な企業」の 1 位に選ばれたセールスフォースは、顧客管理システムにおけるグローバルリーダーであり、CEBIT2018 のプレミアムパートナーの一つでもあります。同社は CEBIT 会場内に「Salesforce Park」を設置します。ここでは自社の製品・ソリューションを紹介する他、ビジネスと社会のデジタル化についての基調講演を開催する CEBIT 会場内最大の講演会場を擁し、100 名を超える顧客にドイツ企業のデジタル化導入の成功事例を紹介するエキスポも開催します。セールスフォースドイツ法人の上級副社長であるヨアヒム・シュライナー氏は以下のように話しています。「フォルクスワーゲンやアクセンチュアを始めとする同社の顧客は第 4 次産業革命の最前線に立つマーケットリーダーであり、クラウド、ソーシャル、IoT、AI のような最新テクノロジーの恩恵を受け、自社の顧客との関係性を変化させています。このような産業のシフトは企業のみならず個人にも必須であり、技術を正しく使うことが世界をより良くすることに繋がります。」

▼ ヒューレットパッカートも大規模ブースを設置、デジタルトランスフォーメーションの事例を紹介

ヒューレットパッカートも 800 m²にも及ぶ大規模ブースを設置します。ヒューレットパッカートドイツ法人のジェネラルマネージャーであるハイコ・マイヤー氏は CEBIT に出展する理由を次のように語っています。「すべての機器、工程、建物は将来的に全てインテリジェントに繋がった状態で配置されるでしょう。我々の出展の目的は、この迫りくる未来への熱狂を呼び起こすことであり、また同時にそれにより生じる好機を活用し、関連して起こりうるリスクに対処する方法を説明することです。」このような出展目的を掲げ、同社は自己修復が可能な製造機器、人をガイドし指示を出すインテリジェントルーム、差し迫った障害を解決するデータセンター、数百万に及ぶ障害を比較し、正しい解決方法を導き出すコンピューター等、インテリジェントな無人システムの展示を通じ、近い将来に生み出される付加価値を紹介します。

▼ ドイツ自動車連盟 (ADAC) が CEBIT の「Future Mobility」に関し長期パートナーシップに合意、「Future Mobility」にはドイツ鉄道、フォルクスワーゲンも出展、高い関心が集まる

2千万人以上の会員を擁するドイツ自動車連盟 (ADAC) は、CEBIT の「Future Mobility」のトピックについて長期パートナーシップに合意。デジタル化の影響を受け、将来的にモビリティおよび運転者の行動に大きな変化が生じることが予想されるため、ドイツ自動車連盟には、道路上でのアシスタントサービスプロバイダーから運転者のモビリティのすべてをカバー団体として変貌を遂げたいという狙いがあり、このたびのパートナーシップ締結が実現しました。会長のアウグスト・マーケル氏曰く、CEBIT との連携からこの変革に対処するためのアイデアが生まれることを期待し、パートナーシップは一年限りで終わらせず、翌年以降も続けていく考えです。

「Future Mobility」エリアにはドイツ鉄道、フォルクスワーゲンも登場。ドイツ鉄道は 2030 年までに乗客数を 2 倍に引き上げる目標を掲げており、デジタル化導入に意欲を燃やしています。同社ブースではアプリを使った簡易なチェックイン、乗客をドアや空席に誘導する光るプラットフォーム等が出展されます。フォルクスワーゲンのブースではコネクテッドカー、無人運転技術、デジタル自動車デザイン、量子コンピューター、AI、ブロックチェーン技術、VR、ライドシェアリング等、来場者が体験できる技術・ソリューションが紹介されます。また、6 月 12 日には「フォルクスワーゲンサミット」を開催。同社の専門家と産官学の専門家が、個人と都市のモビリティの未来、将来の生活と労働環境について基調講演、ディスカッションを行います。

▼ デジタルトランスフォーメーションの旗振り役である Atos が出展、dlcampus にも登場

データ侵害、ランサムウェア、パスワードのハッキング、DDoS 攻撃等、2017 年にはドイツ国内だけでも 2,300 万人が被害に遭っています。サイバーセキュリティ、ビッグデータ、ハイパフォーマンスコンピューティング、デジタルワークプレイスのソリューションの分野における、ヨーロッパ随一のプロバイダーである Atos が CEBIT にブースを設置、dlcampus にも登場します。フランスに本拠地を置く Atos は、製造、化学、輸送、エネルギーとユーティリティ、銀行・保険、小売、マスコミ、教育、出版、テレコミュニケーション等、様々な産業セクターを横断したデジタルトランスフォーメーションの支援・促進を行っています。Atos ドイツ法人の CEO であるウルズラ・モルゲンシュテルン氏は CEBIT 参加の理由を以下のように語っています。「わが社は CEBIT をデジタルトランスフォーメーションの対話を交わすためのプラットフォームであると評価しており、デジタル技術と革新をリードする展示会という CEBIT の真価は、新コンセプト導入によってより高められるでしょう。」

▼ 公共部門におけるデジタル化、「eGovernment」が新たなキートピックスに

デジタル化の波は地方自治体にも及んでおり、デジタル化を導入することにより手続きの効率化、個人・企業へのサービスの向上が期待されています。そのため、CEBIT ではホール 14 に「デジタルアドミニストレーション」のショーケースを設け、eGovernment に必要とされる、ソリューションとアプリケーションを紹介します。

ドイツにおける自治体のデジタル化のための専門組織である「自治体のデジタル化協会 (Gesellschaft fuer kommunale Digitalisierung AG, GFKD)」は「kommune. digital (地方自治体. デジタル)」というブランドを掲げ、CEBIT 会場内でフォーラムを開催します。来場者が自治体にてデジタルアドミニストレーションが導入された状況を体験できるプレゼンテーションの他、自治体、技術、ビジネスの専門家が登壇するレクチャー、パネルディスカッションが予定されています。

チャットボットも eGovernment において、市民や企業からの問い合わせの一次窓口として重要な役割を持ちます。ドイツの eGovernment 向けに開発されたチャットボットである「GovBot」は、一般情報のコミュニケーションのみならず、ミーティングの設定、住所変更登録、車のナンバープレート申請

を始めとする管理業務を代行することができます。「GovBot」はデジタルアドミニストレーションショーケースに展示される予定です。

▼ 中小企業を主役に据えた展示、イベント多数開催

CEBIT では来場者の 60%を占める中小企業に焦点を当てたショーケースやイベントも多数開催されます。

2018 年 3 月にベルリンにてオープンした「中小企業 4.0IT 専門技術センター (The SME 4.0 IT Expertise Center)」が CEBIT に登場します。同センターはドイツ政府が掲げる「SME 4.0 プログラム」の下、中小 IT 企業のパートナー探し、デジタル化ソリューション開発の支援を目的に、中小 IT 企業がデジタルトランスフォーメーションを体現する存在となり、「中小企業による、中小企業のための」ソリューション提供者になるよう期待を込めて設立されました。同センターは 6 月 13 日に中小企業と IT 産業従事者向けにカンファレンスを開催します。

ドイツ商工会議所も CEBIT 内で「We do digital」のスローガンの下、従業員数 500 名までの中小企業による、デジタル化の成功体験をシェアするイベントを開催します。このイベントは中小企業が自社独自のデジタル化戦略を立て、ドイツ全体のデジタルトランスフォーメーションを推進することを目的としています。成功体験は外部審査員によって審査され、6 月 12 日に受賞者が発表される予定です。

その他、6 月 15 日には「中小企業のためのデジタル化への実践的なアプローチ」というイベントが開催され、専門家によるデジタル化した職場環境と従業員の生産性向上に与えるインパクトについてショートプレゼンテーションがあります。プレゼンテーションを行う専門家はブースを持っており、来場者は個別に自社のケースについて相談することが可能です。

ホール 14 から 17 に展開している、デジタルビジネス・アドミニストレーションエリアでは、製品販売・社内管理業務のデジタル化への投資を検討している中小企業向けの情報があり、ホール 12、13 にはデジタル化導入のためのインフラ整備、コミュニケーションの最適化、データセンターの設立・保守、IT セキュリティに関する技術が展示されます。

▼ ドイツテレコム、IBM 等著名企業がカンファレンスに登場。

ドイツテレコムグループの T システムズとテレコムドイツは 6 月 14 日に「デジタル化デー (Digitization Day)」を d!campus にて開催します。また、「Take-off Monday」に講演する VR の第一人者であるジャロン・ラニアー氏が登場するプログラムにて、T システムズ CEO であるアデル・アル＝サレー氏が登壇します。その他、ボストン・ダイナミクスの創設者であるマーク・ライバート氏、音声検索アプリ「Shazam」の開発者であるクリス・バートン氏、オックスフォード・インターネット・インスティテュートのヴィクター・マイヤー・ショーンベルガー氏他、600 人を超える著名人の登壇が決定しています。

カンファレンスには、女性スピーカーも数多く登壇します。IBM の会長、理事長、CEO であるジニー・ロメッティ氏は 6 月 11 日の Welcome Night において基調講演をする予定です。彼女は現代社会におけるデータと AI の重要性を確信しており、AI はどのように企業とその顧客を支援しうるのかということについて言及する予定です。

その他、ジャーナリスト、作家、基金創設者であるアウマ・オバマ氏はデジタル化による経済的・社会的困難を抱える子供たちの支援について、IBM のマネージャーであるマルティナ・ケデリッツ氏はデジタルの専門職における女性の挑戦について、企業家のスザンネ・ビルガードツェル氏は自身の起業体験について、オンラインセレクトショップ「Zalando」の技術部門長であるステーシア・カー氏は AI と機械学習がファッション界をいかに変えうるかについて講演を行います。以上